



九州20水系34河川で水質調査

泳ぎたいと思う川

永代橋(小川)
桑平橋(祝子川)

省 交 国
州 地 整

国土交通省九州地方整備局が2日に発表した平成24年度の九州地方一級河川の水質現況で、「泳ぎたいと思うきれいな川」に五ヶ瀬川水系の「永代橋(小川)」と「桑平橋(祝子川)」いずれも延岡市一が選ばれた。一方、河川の水質汚濁を示す基準となるBOD値は、同水系5地点で環境基準を満足「水質ランク日本一」(23年度)を維持する良好な水質を示した。

「泳ぎたいと思うきれいな川」は、同整備局管内の20水系34河川を対象に水生生物による水質調査。泳ぎたいと思うきれいな川に選ばれた五ヶ瀬川水系祝子川の桑平橋上流付近で(7月29日)に調査。従来の有機性汚濁指標などの評価に加え、「人と河川の豊かなふれあいの確保」や「豊かな生態系野確保」ごみの量や水のにおい「河川に近づきやすい地点」など住民の視点に立った新しい水質評価を実施した。

その結果、永代橋と桑平橋と釜掛水辺の染校、森下橋(番匠川水系番匠川)「いずれも大分県佐伯市」、権現橋(球磨川水系川辺川)「熊本県相良村、大山水辺、ラザ筑後川水系筑後川)「大分県日田市」の6地点が選

定された。一方、従来実施しているBOD調査(生物化学的酸素要求量)は、「水質環境の保全に関する基準」のうち一般的に河川の水質汚濁を表す基準。水中の汚濁物質が水温20度で5日間のうちに微生物により酸化分解される過程で消費される酸素量を示し、水質関係の各種法令で規制項目として採用されている。

同整備局によると、五ヶ瀬川水系は24年度、三輪、松山橋(五ヶ瀬川)、大瀬橋(天瀬川)、中州合流点(祝子川)、白石(北川)の計5地点で月1回水質測定を実施。その結果、BOD平均値は三輪0・5、松山橋0・6、大瀬橋0・5、中州合流点0・6、白石0・6だった。

同整備局延岡河川国道事務所調査第1課は、「流域の皆さんの森林を守る活動や生活排水対策などの努力で良好な水質を維持している。今後もきれいな川を守るため協力を願いたい」と話している。

同事務所は、大分、熊本、宮崎の各県と沿線市町村で「五ヶ瀬川水系水質汚濁防止連絡協議会」をつくり、河川ハトロー

ルや各種広報活動、水質に関する情報交換などを通し、水質保全に取り組んでいる。